

海外在住でも国民年金に任意加入できます

国民年金には、海外に在住する20歳以上60歳未満の日本に国籍がある方の「国民年金任意加入制度」があります。

海外在住期間に国民年金に任意加入することに、次のメリットがあります。



海外から日本国内に 住民票を戻した場合の手続き

海外に居住し国民年金に任意加入されていた方が日本に帰国し、日本国内に住民票を戻した場合は、一時帰国などの短期間であっても国民年金の手続きが必要です。

この手続きをしないと、任意加入期間中に納付した保険料のうち日本国内に住民票を戻した以降の保険料は、払い戻しされます。



任意加入することで受給できる公的年金

老齢基礎年金

高齢になったとき(受給資格要件を満たした場合)

遺族年金

海外在住期間中に死亡したとき

障害年金

海外在住期間中に病気やけがで障がいが残ったとき

- ◆任意加入するためには手続きが必要です。
- ◆任意加入の資格は、資格取得申出書を提出された日から取得できます。
- ◆保険料の納付方法はお問い合わせください。

任意加入の手続きのご相談は、市役所保険年金課または大津年金事務所までお願いします

資源ごみを分別しよう!!



たくさんあります! 資源ごみ!



ペットボトル、缶、ビンは収集当日の8時までに各集積所に出してください。新聞、段ボール、雑誌などの古紙類は指定の回収場所があります。回収場所や分別方法が分からない場合は市が発行している「ごみの分け方・出し方」をご覧ください。お問い合わせください。

ごみの中には、再度そのまま使用できるものや原材料としてリサイクルできるものがあります。そのようごみは「資源ごみ」として分別をお願いします。

資源ごみの分別にご協力ください!

可燃ごみ搬出量	測定月	収集量
現在、三重県の民間ごみ処理業者へ委託して焼却処分しています。ごみの量に応じてごみ処理費用を負担することになりますので、ごみの分別や減量にご協力ください。	令和元年7月分	1,236t
	令和2年7月分	1,204 t (前年比32t減)

安全安心

交通事故発生状況

高島警察署 ☎(22) 0110
 (令和2年7月末現在)

内容	件数	前年比
人身事故発生件数	30件	-25件
死者数	0人	-2人
傷者数	41人	-27人

発生場所	件数
マキノ	6件
今津	5件
朽木	0件
安曇川	7件
高島	4件
新旭	8件

※概数



火災・救急・救助件数

消防総務課 ☎(22) 5401
 (令和2年7月末現在)

火災	件数	累計(1月~)
建物	1件	7件
車両	0件	1件
林野	0件	0件
その他	0件	11件

救急	件数	累計(1月~)
交通事故	9件	76件
一般負傷	45件	226件
急病	133件	846件
その他	16件	148件

救助	件数	累計(1月~)
火災	0件	0件
交通事故	1件	14件
水難事故	0件	1件
その他	1件	3件

環境放射線測定結果

原子力防災対策室 ☎(25) 8133

7月平均値(平日測定)	前月平均値
マキノ(マキノ支所前駐車場) 0.064 μSv/h	0.064 μSv/h
今津(今津支所前駐車場) 0.034 μSv/h	0.037 μSv/h
朽木(朽木支所前駐車場) 0.068 μSv/h	0.057 μSv/h
安曇川(安曇川支所南側駐車場) 0.044 μSv/h	0.047 μSv/h
高島(高島支所東駐車場) 0.049 μSv/h	0.053 μSv/h
新旭(高島市役所本館北側駐車場) 0.053 μSv/h	0.049 μSv/h

※測定地点は他に24か所あります。測定結果は、市のホームページをご覧ください。
 ※日本での自然放射線による時間線量の通常値はおおむね0.2μSv/h以下です。

コロナ禍における 自然災害等に備える

新型コロナウイルス感染症の収束が見通せない状況の中で、本格的な台風シーズンを迎えることとなる今年は、自然災害からの避難対策と同時に感染症から身を守る対策も必要です。また、飛沫防止のためのマスク着用と同時に熱中症対策にも配慮する必要もあり、これまで取り組んできた対策と感染症予防対策について、バランスを取りながら進めていく必要もあり、以前にも増して、より慎重な対応が求められています。そうしたなか、7月28日(火)、被災者および職員の感染防止を図りながら、的確・安全に避難所を開設・運営するための手順を確認するため、市では、自然災害の発生時における、避難所の開設を想定した県と合同での訓練を実施し、避難所における感染対策のポイント、密を避けるためのパーティションや段ボールベッドの設置、発熱のあ

る方の誘導手順など、市の広域避難所を担当する職員も参加し、一層の理解を深めたところ。また、毎年9月に実施している市の総合防災訓練では、従来の訓練内容を大きく変更し、感染症対策にポイントを置いた避難所運営訓練を各地区本部ごとを実施し、スムーズな開設や運営に関して実際に即した訓練を行うとともに、対策本部にて課題の検証を行い、万が一の際の備えをして万全の態勢で臨んでいく意向です。

福井 正明

市長雑記

